

第3学年特別活動学習指導案

日時	平成23年9月27日(火) 4校時
場所	奥州市立前沢中学校 3年2組教室
学級	3年2組(男子18名女子18名計36名)
指導者	穴戸弘徳

1 題材名 文化祭を通して伝えるものは何か？

2 単元について

(1) 教材観

本題材は、中学校学習指導要領第5章の第2〔学級活動〕の2「内容」「(1)学級や学校の生活づくり」を中心としたものである。すなわち、本学習においては、学級や学校における生活上の諸問題の解決を図るとともに、学級内の組織づくりや仕事の分担を見直し、学校における多様な集団生活の向上を図るものである。

来月、行われる文化祭は、中学校生活残り半年という時期に行われる最後の行事である。文化祭では生徒会の引き継ぎを始め、文化部にとっての最後の大舞台でもあり、伝統と文化を継承していく大切な機会でもある。特に合唱活動は、みんなで作り上げていくという性質上、人間関係の構築や社会性の育成という意味でもその価値は大きく、多くの時間が費やされる。

そこで本時では、最後の行事としての文化祭へ意欲的に取り組むためのきっかけとするとともに、合唱活動に焦点をあて、後輩達のために自分にできることは何かという観点から、残りの半年という広い視野をもちつつ、自分の生活の一つひとつを立ち返る場として適した教材である。

(2) 生徒観

全体的には明るく活発で何事にも一生懸命な生徒が多い。リーダーも育っており、生徒会と学級執行部がそれぞれの立場で全体をまとめリードしている。女子は元気が良く自分の考えをしっかりと表現できる生徒も多い。また係活動や行事にも意欲的である。しかし中には昨年度来、こじれた人間関係で未だわだかまりを抱えている生徒もいる。一方、男子は、運動部の生徒を中心に学級の明るい雰囲気をつくっているものの、全体で決まったことや提出物の期限がなかなか徹底できないことが多い。このような男女の実態から、本学級は、新学習指導要領で重視している「人間形成」を、様々な活動や経験を通して図る必要性があると言える。

本学習を実施するにあたり、本学級では、1学期から人間関係スキルアップなどのプログラムなどを意図的に取り入れてきた。その結果、少しずつではあるが前向きな考え方、思いやりのある声かけや行動が見られるようになってきた。しかし、合唱に関しては学級としての意識に大きな差があり、これまでの取り組みを見ても多くの不安材料を抱えている。

合唱に関するアンケートの結果では、学級全体としては「合唱が好き」または「どちらかといえば好き」と思っている生徒が54.3%、「どちらかと言えば嫌い」または「嫌い」という生徒が45.7%である。男女別で見ると特に男子は39%が「合唱は嫌い」、33%が「どちらかといえば嫌い」と回答しており、「好き」または「どちらかといえば好き」と回答した28%の生徒を大きく上回っている。一方女子は、「合唱が好き」と回答した生徒が約59%、また「どちらかといえば好き」と回答した生徒が約23%で合計約82%となり、男子と比較すると意識に大きな差があることが分かる。しかし男女併せて92%(34人)の生徒が今年の合唱には意欲的に取り組みたいという思いを持っているということがアンケート結果から明らかになった。

(〈アンケート結果〉参照)

<アンケート結果>

評価と項目	男子				女子			
	4	3	2	1	4	3	2	1
合唱が好きか？	3 (17%)	2 (11%)	6 (33%)	7 (39%)	10 (59%)	4 (23%)	3 (18%)	0 (0%)
去年は意欲的だったか？	3 (17%)	9 (50%)	4 (22%)	2 (11%)	10 (59%)	6 (35%)	1 (6%)	0 (0%)
今年、頑張りたいか？	7 (39%)	9 (50%)	1 (5%)	1 (5%)	13 (76%)	3 (18%)	1 (6%)	0 (0%)

4・・・そうである 3・・・どちらかと言えばそうである 2・・・どちらかと言えば違う 1・・・違う

☆「合唱が好き」「どちらかと言えば好き」と回答した人のその理由

音楽自体が好きだから／上手にできると楽しいから／単純に音楽が好きだから。でも男子がもう少し声を出し意欲的に取り組んでくれたら、もっと好きになる／4つの音程がハモるとかっこいいから！！／みんなで1つになれるから／ひとつになったとき達成感を感じるから／みんなと楽しく歌うのが好きだが、自分は声に自信がないので「3」にしました。

★「合唱が嫌い」「どちらかと言えば嫌い」と回答した人のその理由

声が出ない／歌が下手だから／めんどくさい／疲れる／練習が多い／歌が苦手だから／音程がよく分からないから／自分のパートの声が出ていない／音痴だから／J-POP や K-POP の方が好きで合唱は苦手。

(3) 指導観

本時は、文化祭まで1ヵ月を切った時期であり、活動をより充実させるために、取り組みの見直しや練り直しを図る時期である。

合唱に関して、昨年度を振り返ると、やる気のある女子がいる一方で、どうしても声が出ない(出さない)男子でハーモニーがとれず、合唱になっていなかった印象がある。また、前述のアンケート結果からも明らかなように、歌わない男子はただ単に合唱が嫌いだということだけではなく、「めんどくさい」「疲れる」といった回答から、学級への一員としての所属感の欠落があると言える。つまり、意欲と技術の両方に課題があると言える。

そこで、本時は、最初にこれまでの中学校生活で印象に残っているのは先輩達の姿について考えさせる。この理想となる先輩方の活動状況をイメージさせること通して、自分たちの方向性を具体的に確認させたい。また、その一方で自分たちの現状を客観的に考えることを行う。この二つの活動を通して、理想と現実とのギャップを理解させるとともに、ギャップをなくすための方策についてグループにおける話し合い活動を通して考えさせたい。

今回、展開場面で取り入れるKJ法とブレインストーミング法は、グループ活動を円滑に進めるための方法として今年度、授業に何度か取り入れている。本授業ではKJ法によって課題を焦点化する一方、ブレインストーミング法によって安心して考えを出させる雰囲気をつくる。この二つの方法を通して、自分たちの考えをより焦点化し話し合いを深めたい。

卒業まで残すところ半年となった今、学級としての大きな取り組みも最後のこの時期、この文化祭が後輩達に先輩らしさを見せる最後の機会でもあるということも自覚させ、自分達はどうかこの文化祭に取り組めば良いのかを考えさせるとともに、卒業に向けた広い視野から諸事象を捉えるきっかけとさせたい。

3 本時の指導

(1) 本時の目標

文化祭を通して先輩として後輩達に何を伝えていくのか、どのような取り組み方をすれば自分達が納得する文化祭になるかという視点で、文化祭に積極的に関わっていこうとする態度を育てる。

(2) 本時の展開

段階	学習内容	生徒の学習活動	◎教師の評価 ★支援 ※留意点	備考
導入 10分	1 前時の復習	<ul style="list-style-type: none"> 先輩達の姿で思い出に残っていることをあげさせる。及びアンケート結果の発表。 感想発表 	<ul style="list-style-type: none"> ★先輩達の行事の写真を、スクリーンを使って見せる。 ・本時の説明 ・全体進行は議長 	<ul style="list-style-type: none"> ・DVD ・PC ※アンケート結果の発表 ※写真の提示(卒業生の姿)
	2 学習課題の設定	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題を把握する。 		
文化祭を通して後輩に何を残すことができるか話し合おう				
展開 30分	3 後輩達に伝えるべきものは何かを出し合う	<ul style="list-style-type: none"> ・先輩の合唱のビデオを見る。 ・感想を発表する。 ・自分たちの課題は何かを出し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・班ごとに感想を出し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年の映像 ・テレビ ・模造紙・ペン付箋紙
	4 理想の追求と決意	<ul style="list-style-type: none"> ・後輩から見る先輩としての格好いい姿とは何か、先輩らしい態度とはどんな態度かをブレインストーミング法を用いて出し合う。 ・各班、黒板に貼り出し発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ★各班で司会者を決め貼り出させる。 ★項目の分け方の助言 	<ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ多くの意見が出されるように、時間を確保する。
	5 考えの交流	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなの意見を聞いて感じたことや大切にしたいことなど、自分たちはどう取り組むか発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ★自分自身としての理想の活動のあり方を聞く。 ◎今日の意見の交流を通して、本時の課題に迫ったか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ多くの人にあてる。
終末 10分	6 まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習を振り返り、後輩に伝えるべきものは何か、そのためにはどういった取り組みをしていくのかをまとめる。 	◎文化祭に向けての意欲向上及びよりよい生活や集団作りに向けての視点を持つことができたか。	

(3) 具体的評価規準

評価規準	十分に満足できる状況(A)	概ね満足できる状況(B)	Bに満たない生徒への手立て
関心・意欲・態度	他者と意見交流しながら、学級の一員として、行事を成功させるために主体的に取り組もうとする考えを発表している。	グループ活動で自分の考えを発表するとともに、他者の考えを聞いてこれからの決意を考えている。	発表を聞き、多様な考えがあることを確認させる。

